

しん そう どちゅう せ ひ き
深層土中施肥機「カットインジェクター」®

畑地・草地に最大8本のノズルで同時に施肥可能!

型式 JIKA-08

“新方式のスラリーインジェクター”
 家畜糞尿スラリーやメタン発酵
 消化液、液肥を土中に直接施用
 臭気がほぼ発生しない

※本製品は受注生産



適用推奨トラクター

90PS～（カテゴリーⅡ）

仕様	
名称	カットインジェクター
型式	JIKA-08
タイプ	8連×750mm間隔 油圧2系統
接続方法	標準3点リンク直装
カテゴリー	Ⅱ
全長・全幅・全高	1,700mm・3,500mm・3,000mm
重量	1,810kg
作業幅	5,200mm
作業深さ	10～20cm
作業速度	2～10km/h
対応スラリートanker	4～20t程度 お問い合わせください

※製品の概観、仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
 接続部の仕様によっては取付できない場合があります。



▲ 装着時写真(バキュームタンク使用時)
 (既に所有されているスラリートankerを利用できる場合がございます。)



▲ 施工後圃場写真

深層土中施肥機「カットインジェクター」® 概要

深層土中施肥機「カットインジェクター」は、

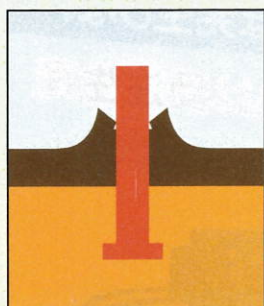
- ①土や草地ルートマットを切断し、
- ②スラリータンカーやバキュームタンカーから、スラリーを注入し、
- ③開口部の鎮圧する。

これらの工程を一連で行うことができる。

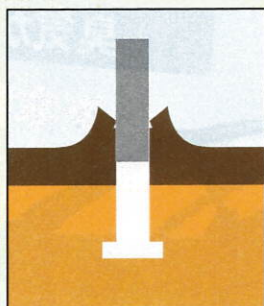
液肥を土中施用することで、アンモニアの揮散による液肥の窒素成分の最大3割程度の減少を防止し肥料効果を最大にでき、施用時の臭気も軽減できます。

住民や環境に考慮しながら有効な肥料資源の循環利用を促進することができます。

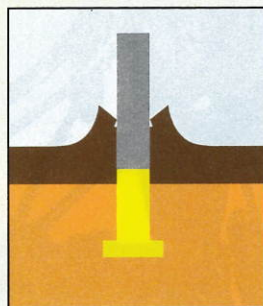
- ・収穫後の堅い畑地に土壌破碎と破碎溝へのスラリー・消化液等の注入。土壌破碎と液肥土中施用で地力増進。
- ・草地での利用も可能。ルートマットの切断・液肥注入で草地の回復
- ・スラリーが牧草などの作物に直接付着することが防止できます。



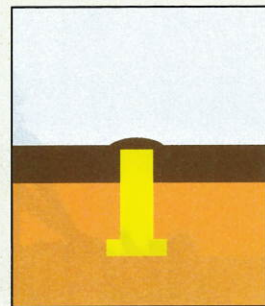
①切断刃により土壌や草地のルートマットを切断



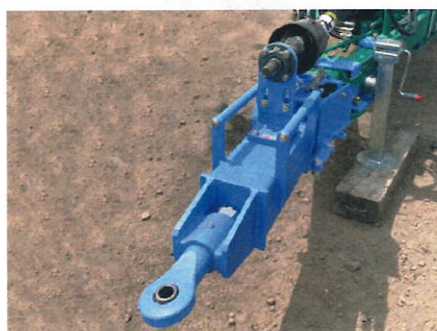
②土壌に溝場の隙間を構築



③隙間にスラリーや液肥の肥料を投入



④ローラーやガイドにて開口部を鎮圧



▲牽引フレームが必要です。



▲施工写真



▲切断刃の深さ(5～20cm調整可能)

深層土中施肥機「カットインジェクター」は **農研機構** 農研機構農村工学研究部門との共同開発製品です。施工機等に関する技術や安全装置に関する技術は、出願中の特許技術が利用されています。

製造元

「ものづくり」で農業を支える

Hokkai KOKI

株式会社 北海コーキ



〒099-1587 北海道北見市豊地22-4
TEL 0157-36-6808 FAX 0157-36-6809

販売元